

## #7 三一の神の永遠の祝福

(民数記結晶の学び) 2019/4/8-14

**I. 全宇宙で唯一の祝福は三一の神です。この祝福が私たちに臨むのは、神聖な方が彼の神聖な三一の中で(父、子、聖霊の中で)、私たちの中へと分与することを通してです:**

**A.** エペソ 1 章が私たちに与えている記録は、どのようにして三一の神が彼の神聖な三一の中で、彼の選ばれ、贖われ、造り変えられた人を祝福し、キリストのからだ、すなわちすべての中ですべてを満たしている方の豊満としての召会を生み出すかということです: **1.** 彼は御父の中で、御子の中で、霊の中で私たちに祝福します。エペソ 1:3 ほむべきかな。私たちの主イエス・キリストの神また父、この方はキリストの中で、天上にある霊のものであるあらゆる祝福をもって、私たちに祝福してくださいました。**2.** 最終的に、そのような神聖な三一が神の選ばれた人への祝福として流れるゆえに、一つの結果があり、この祝福された流れの結果は、キリストのからだ、すべての中ですべてを満たしている方の豊満としての召会です。キリストのからだとしての召会は、流れとしての神聖な三一が神であるすべてを、彼の選ばれた人の中へと分与した総合的な結果です。エペソ 1:22-23 また神は、…彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

**B.** 新エルサレムは、聖書の全記録の究極的完成であり、神ご自身を彼の神聖な三一(父、子、霊)の中で、彼の選ばれ、贖われ、再生され、造り変えられ、栄光化された人とミングリングし、彼らの永遠の祝福となります。そのような祝福は、民数記 6 章におけるイスラエルに対する神の祝福の究極の成就です。【月】

**II. 民数記6:22から27で私たちは、祭司による祝福の模範を見ます。この祝福は旧約の祝福でも、新約の祝福でもなく、三一の神の永遠の祝福です。すなわち、三一の神が彼の神聖な三一の中で、ご自身を私たちの中へと分与し、私たちの享受となることです: 民6:23-24** アロンとその子たちに語って言いなさい、「あなたがたはイスラエルの子たちを、このように祝福しなければならぬ。あなたがたは彼らに言わなければならない。『エホバがあなたを祝福し、あなたを守られますように』」。**A.** 「エホバがあなたを祝福し、あなたを守られますように」は、御父と関係があることと見ることができます: **1.** 御父は彼の愛の中で、あらゆる方法とあらゆる面で私たちに祝福し、彼の力の中で、あらゆる方法とあらゆる面で私たちを守ります。ヨハネ 17:15 私がお願いするのは、あなたが彼らを世から取り去ることではなく、彼らをあの邪悪な者から守ってくださいことです。**2.** 主は、御父が彼の御名の中で、私たちを守ってくださるようにと祈りました。これは、分与する三一の神の中で私たちを守ることです。主イエスは続けて、御父が私たちをあの邪悪な者から守ってくださるようにと祈りました。**3.** 私たちは、三一の神の分与の中で絶対的に守られる祝福のために、またあの邪悪な者から完全に守られる祝福のために祈るべきです。これは何という祝福でしょう! 【火】

**B.** 「エホバが御顔(face)をあなたの上に輝かし、あなたに対して恵み深くありますように」は、御子と関係があることと見ることができます: 民6:25 エホバが御顔をあなたの上に輝かし、あなたに対して恵み深くありますように。**1.** ルカ 1:78で、主イエスが生まれようとしていたとき、ザカリヤは、「昇る太陽が高い所から私たちに訪れ」と預言しました。この昇る太陽は、神聖な三一における御子です。これが暗示するのは、神が肉体と成ることが、輝く方法でご自身を私たちに示すということです。**2.** 民数記6:25の「御顔」という言葉は、臨在

を表徴します。御子キリストの御顔が私たちの上に輝くとき、彼は見えない神の見える臨在です。**3.** 民数記6:25は、エホバが御顔を私たちの上に輝かすことについて語っているだけでなく、エホバが私たちに對して恵み深くあることについても語っています。この二つの点を一緒にすると、ヨハネ 1:14、16から17と等しくなります。ヨハネ 1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。**4.** 神が肉体と成ることは彼の臨在の輝きであり、この輝くことに沿って恵みがありました。この恵みは主イエス・キリストの恵みであり、実はキリストご自身です。【水】

**C.** 「エホバが御顔の表情(countenance)をあなたに上げ、あなたに平安を与えられますように」は、その霊と関係があると見ることができます: 民6:26-27 「エホバが御顔をあなたに上げ、あなたに平安を与えられますように」。彼らが私の名をイスラエルの子たちの上に置くなら、私自ら彼らを祝福する。エペソ 4:30 また、神の聖霊を悲しませてはいけません。この方の中で、あなたがたは証印を押されて、贖いの日へと至るのです。**1.** 顔(face)は人の臨在を示し、顔の表情(countenance)は人の表情を示します。あなたの顔を人に上げることは、あなたがその人に確証し、保証し、約束し、すべてを与えることを意味します。**2.** イエスは神の御顔(face)として来ました。聖霊は神の御顔の表情(countenance)として来ます。もし私たちが彼を悲しませるなら、彼は御顔を伏せますが、私たちが彼に服従するなら、彼は私たちに對して幸いであり、彼の御顔を上げて、私たちに確証し、保証し、担保し、約束し、すべてを私たちに与えます。【木】

**III. II コリント 13:14は言います、「主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように」。この祝福は、実は民数記6:23から27節における祝福と同じです: II コリント 13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。II ヨハネ 3 恵みと、あわれみと、平安とが、父なる神から、また御父の御子イエス・キリストから、真理と愛の中で私たちと共にあります。**

**A.** 使徒パウロの祝福において、三一の神が人に臨み、彼らの享受となります。パウロは人を神の臨在の中へともたらしただけでなく、また神を人の中へともたらしました。

**B.** 一方で、他の人を祝福することは、彼らを神の臨在の中へともたらすことです。もう一方で、それは神を愛、恵み、交わりとして彼らの中へともたらし、彼らが三一の神(父、子、霊)を享受することです。**C.** 愛、恵み、交わりは、私たちの享受のための神の三つの段階です。愛は内側のものであり、恵みは愛が表現されることであり、交わりは恵みを私たちの中へと伝達することです。

**D.** 神の愛は源です。なぜなら神は起源であるからです。主の恵みは神の愛の経路です。なぜなら、主は神の表現であるからです。霊の交わりは主の恵みを神の愛と共に分け与えて、私たちに三一の神(父、子、霊)を、彼の神聖な美徳と共に経験させ享受させることです。【金】

**E.** 聖なる御言における神聖な三一の神聖な啓示は、神学上の研究のためではありません。それは、どのようにして神が彼の奥義的で驚くべき神聖な三一の中で、ご自身を彼の選ばれた人の中へと分与し、私たちが彼の選ばれ贖われた人として、コリントの信者たちに対する使徒の祝福によって示されているように、手順を経た三一の神にあずかり、彼を経験し、享受し、所有して、今も、永遠にまでも至

るかを、私たちが理解するためです。私たちは、手順を経た、内側で循環する三一の神を日ごとに享受し、彼をもって祝福されて、彼を宇宙の唯一の祝福として他の人の中へと分与し、イエスの証し、すなわちイエスの団体的な表現を得るといふ神の心の願いを完成しなければなりません。

**民6:24-26** エホバがあなたを祝福し、あなたを守られますように。エホバが御顔をあなたの上に輝かし、あなたに対して恵み深くありますように。エホバが御顔をあなたに上げ、あなたに平安を与えられますように。

**Ⅱコリント13:14** 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

**Ⅳ. 「ときどき私たちが自分の状況を見ると、失望し、自分には何もないと感じるかもしれません。私たちにとって、日の下にあるすべてのもの、霊的な領域におけるすべてのものさえ、空の空であるかのようです。私たちは、召会生活の中でさえ、何も真実ではないと感じるかもしれません。私たちはこのように感じるとき、どうすべきでしょうか？ 私たちは三一の神に転向すべきです。彼は私たちの真実な祝福と分け前です。彼を祝福として持つとは何という祝福でしょう！彼の御顔、彼の臨在を持って、彼を日ごとに恵みとして享受するとは何という祝福でしょう！私たちは苦しみを受ければ受けるほど、ますます彼を恵みとして享受します。彼の御顔が私たちの上で微笑んで、私たちに保証し、確証するとは何という祝福でしょう！彼の中で、彼によって、彼と共に平安を持つとは何という祝福でしょう！これは私たちの祝福としての三一の神です。おお、キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にありますように！」【土】**

#### Ⅰ. 高い福音 第10課 キリストの救い(下)

**ローマ5:10** というのは、私たちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われるからです。

#### 神の救いの有機的な面

神の全体的な救いのもう一つの面は、目的の面です。目的の面で、神が彼の命によって有機的に遂行されたのは救いであり、それは以下のものを含みます：**①再生**、これは私たちに神の永遠の命を受けさせます。**②牧養**、これは私たちを神聖な命において成長させます。**③私たちの性情における聖化**、**④私たちの思いにおける更新**、**⑤私たちが私たちにおける造り変え**、これは以下の**⑥から⑧**をもたらしめます。**⑥神の建造**、**⑦神の長子のかたちへの同形化**、すなわち、神聖な命における円熟、**⑧栄光化**、すなわち神の永遠のエコノミーの究極的完成です。法理的に達成されたものは初期の段階であり、それは贖いであって、五つの項目があります。有機的に遂行されるのはさらに進んだ段階であり、それは救いであって、贖いとは異なり、八つの項目を含みます。贖いは法理的に達成されますが、救いは有機的に遂行されます。有機的な面の八つの項目は、神の召会を生み出し、キリストのからだを構成して、新エルサレムを究極的に完成します。これは神の永遠のエコノミーの最終の目標であり、手順を経た三一の神と、再生され、聖化され、造り変えられ、栄光化された彼の選びの民とが、結合され、混ざり合わされ、一つになって構成された有機体であって、永遠において神の拡大と表現となります。

法理的な面としての贖いは、神の救いの目的を遂行することはできません。なぜなら、それは手続きであって、目的ではないからです。例えば、料理人は多くの時間をかけて台所で料理をし、宴席の備えをします。しかしながら、料理は彼の目的ではなく、手続きであるにすぎません。後ほど、客が招かれてその宴席を享受することが、料理の目

的ですが、同じように、神の救いにおいて、私たちは手続きの面、法理的な面にとどまっているべきではなく、目的の面、有機的な面に前進しなければなりません。

ルカによる福音書第15章の衣と子牛は神の救いの法理的な面と有機的な面を表徴します。ここでは一人の息子が父の家を離れて、放浪し、放蕩息子になったことを語っています。ある日、その放蕩息子は汚れた服のまま家に帰って来ました。彼はなおも彼の父の息子でしたが、外側の様子は放蕩息子でした。彼がまだ遠く離れていた時、父親は彼を見て、走り寄って彼を抱き、彼に口づけしました。その後、父親は直ちに奴隷たちに命じて、「急いで、あの最上の衣を持って来て彼に着せなさい」と言いました。息子は家を離れて放浪した時、息子としての身分を失い、放蕩息子になりました。父親がその衣を彼に着せた時、彼は直ちに再び息子になりました。これは神の救いの法理的な面を言っています。

ところが、衣を着せられて息子となるだけでは十分ではありません。この時、一方で、その息子は幸いでしたが、もう一方で、彼は心の中でこう言ったに違いありません、「お父さん、私に今必要なのは、外側で衣を着せられることではありません。私は食べていないので、内側が空腹です。私は数年間、いなご豆を食べてきました。今日、私は空腹で帰って来ました。どうか急いで私に食べ物を食べさせて下さい」。おそらくその息子はそれを言うのを恥じたでしょうが、父親は続けて言いました、「肥えた子牛を持って来て、それをほふりなさい。食べて楽しもう」。その時、息子は喜び踊ったに違いありません。肥えた子牛を食べた後、息子は満足し、もはや飢えはありませんでした。ですから、衣は神の救いの法理的な面を表徴し、子牛は神の救いの有機的な面を表徴します。

#### キリストの救いが必要である

私たちは、自分が罪深く、神の御前に悔い改め、罪を告白し、主を信じて、罪が赦され、洗い清められ、神によって義とされ、神に和解させられ、地位的に聖別されたことを知っています。これらすべてのことを私たちは知っています。ですから、ある人は言います、「この五つの項目は私たちが天国に行くのに十分だ。神はもはや私たちを罪定めされない。神は永遠に私たちを赦されたのだから、私たちが平安のうちに生きることができる」。ですから、彼らは人に福音を宣べ伝えて、こう言います、「平安であり、イエスに信頼して喜びなさい。良い人になり、人を助けなさい。そうすればある日、あなたは天国に行くでしょう」。ところが聖書は、これは十分ではないと言います。五つの項目に加えて、聖書はさらに八つの項目、再生、牧養、聖化、更新、造り変え、建造、同形化、栄光化について述べているのです。私たちは法理的な面の五つの項目を軽んじるべきではなく、有機的な面の八つの項目をなおさら軽んじるべきではありません。前の五つの項目は基礎であり、家の土台のようなものです。私たちは前の五つの項目の基礎の上に、後の八つの項目を建てる必要があります。私たちが八つの有機的な項目について、さらに徹底した認識と多くの経験を持つことができますように。

#### 中補1001 神のエコノミー—神の有機的な救いを体験する (1997年華語新年特別集会標語)

再せいして、	神せいしないのちを持たせ、
更しんして、	神聖な新創造とならせる。
聖べつして、	神せいな性しつを持たせ、
つくり変え、	神せいなかたちを持たす。
同形化し、	神せいなよう素を持たせ、
栄光化し、	かたちを完全に持たせる。
有機てきなすくい、	いのちにて支配し、
エコノミー完成して、	もくてきに達する。

## Crucial Point①:御父はあなたを祝福し、守られる

**OL1:**「エホバがあなたを祝福し、あなたを守られますように(民6:24)」は、御父と関係があると見ることができます。御父は彼の愛の中で、あらゆる方法とあらゆる面で私たちを祝福し、彼の力の中で、あらゆる方法とあらゆる面で私たちを守ります。**OL2:**主は、御父が彼の御名の中で、私たちを守ってくださるようにと祈りました。これは、分与する三一の神の中で私たちを守ることです。主イエスは続けて、御父が私たちをあの邪悪な者から守ってくださるようにと祈りました。**OL3:**私たちは、三一の神の分与の中で絶対的に守られる祝福のために、またあの邪悪な者から完全に守られる祝福のために祈るべきです。これは何という祝福でしょう！  
**ヨハネ 17:11** 私はもはや世にいません。彼らは世にいますが、私はあなたに行きます。聖なる父よ、あなたが私に与えてくださったあなたの御名の中で、彼らを守ってください。それは、私たちのように、彼らが一となるためです。

祝福する方は私たちを守られます。民数記 6:24 で、「守る」という言葉は極めて重要です。ヨハネ 17:11 で主イエスは、御父が彼の御名の中で、私たちを守ってくださるようにと祈りました。これは、分与する三一の神の中で私たちを守ることです。三一の神がご自身を私たちの中へと分与しておられるとき、私たちは分与する方の中で守られます。

ヨハネ 17:15 で主イエスは続けて、御父が私たちをあの邪悪な者から守ってくださるようにと祈られました。私たちが分与する三一の神の中で守られるとき、敵の手には何も残りません。私たちは、分与する三一の神の中で絶対的に守られる祝福のために、またあの邪悪な者から完全に守られる祝福のために祈るべきです。これは何という祝福でしょう！

御子の信者たちは、今なおこの世にいます。彼らは守られる必要があります。それは、神聖な三一が一であるように、彼らが一となるため、すなわち、彼らが神聖な三一の中で一となるためです。御子は、聖なる父がそのように彼らを守ってくださるようにと祈られました。

御父の御名の中で守られるとは、彼の命によって守られることです。なぜなら、御父から生まれ、そして御父の命を持っている者たちだけが、御父の名の中であずかることができるからです。御父が御子に与えた者たちに、御子は御父の命を与えられました。ですから彼らは、御父の御名の中で守られることによって、この御名を共有し、またその中で一です。この一の第一の面、すなわち、信者たちを建造する第一の面は、御父の御名の中にあり、彼の神聖な命による一です。一のこの面において、御父の命から生まれた信者たちは、御父の御名、すなわち父ご自身を、彼らの一の要因として享受します。

全世界は、あの邪悪な者の中に横たわっています。ですから信者たちは、あの邪悪な者の手から守られる必要があります。また彼らは、あの邪悪な者から救い出されるよう、いつも目を覚まして祈っている必要があります。

聖書では、特にヨハネによる福音書では、名はパーソンを意味します。ですから、御父の名は実は御父ご自身です。御父の名の中で守られるとは、御父のパーソンの中で彼の行動を通して守られることです。今日、御父は…活発に彼の家、召会を建造しておられます。

### 適用: 中高生、大学生編

**I ヨハネ 5:19** 私たちは神から出た者であり、そして全世界は邪悪な者の中に横たわっていることを、私たちは知っています。

あなたは救われて神に属する、神の子供となりましたが、まだサタンの王国である世の中に生きています。このためあなたは、「御父があなたを祝福し、あなたを守られる」と

を必要としています。ある人は、**(1)**悪魔の誘惑に負けて勉強しなくなったり、**(2)**同級生から悲惨ないじめに遭ったり、**(3)**先生や同級生との人間関係がうまくいかず、精神的あるいは肉体的にバランスを崩してしまい、不登校になったり、**(4)**心の中に、友人や先生、あるいは両親に対する激怒、怒りの爆発、恨み、ねたみなどの消極的な思考で満たされ、引きこもりや自殺などに至ったり、**(5)**不慮の事故に遭ったりすることがあります。このような人たちは、普通の学生たちと大いに異なっているわけではなく、何か少し守られれば悲惨な状況に至らなかった普通の人々です。これはあなたがサタンの世の中で危険な状況になり、御父によって守られる必要があることを強く示しています。**マタイ 6:13** 私たちを試みに遭わせないで、あの邪悪な者から救い出してください。それは王国と力と栄光とが、永遠にあなたのものであるからです。アーメン。FN「邪悪な者」:王国の民は御父に、自分たちを試みに遭わせないで、あの邪悪な者、悪魔と彼から出ている邪悪から救い出してください。求めべきです。  
**祈り:**「おお主イエスよ、私は主の御名の中へと信じてバプテスマされ、救われました(小学校 5 年生の皆さんは前進して、今年中にバプテスマされるようにしてください)。しかし、私はまだこの世の中に生きていますので、サタンの誘惑などによって試みに遭う可能性が十分あります。私は御父の御名の中で祈ります。私を守り、悪魔から来るあらゆる試みから救ってください。アーメン！」

## Crucial Point②:御子の御顔の臨在は輝きと恵みを与える

**OL1:**「エホバが御顔(face)をあなたの上に輝かし、あなたに対して恵み深くありますように(民 6:25)」は、御子と関係があると見ることができます。**OL2:**神が肉体と成ることは彼の臨在の輝きであり、この輝きに沿って恵みがありました。この恵みは主イエス・キリストの恵みであり、実はキリストご自身です。

民数記 6:25 の「御顔」という言葉は、臨在を表徴します。御子キリストの御顔が私たちの上に輝くとき、彼は見えない神の見える臨在です。神と彼の臨在は見えませんが、彼は肉体と成ることを通して輝く太陽とされました。この輝く太陽は、神の見える臨在が見えるものとなったものです。神の臨在は、見えるものとなっただけではありません。それはまた輝いていました。

民数記 6:25 は、エホバが御顔を私たちの上に輝かすことについて語っているだけでなく、エホバが私たちに対して恵み深くあることについても語っています。神が肉体と成ることは彼の臨在の輝きです。この輝きに沿って恵みがありました。「言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。…恵み…に満ちていた」。主は私たちに恵み深いのです。彼は私たちに恵みとなりさえました。主が私たちに恵み深いとは、彼が絶えず私たちに恵みであることを意味します。この恵みはキリストの恵みであり、実はキリストご自身です。私たちはキリストを持つとき、恵みを持ちます。三一の神は、完全に私たちに恵み深いのです。日ごとに私たちは彼を恵みとして享受します。

### 適用: 結婚生活編

結婚生活で、夫と妻は非常に近いので、お互いの会話や態度に恵みが欠ける、あるいはなくなることがあります。主の恵み深い祝福の下で結ばれた夫婦ですので、受肉した神、御子の御顔を見上げ、結婚生活でも、夫であれば「亭主関白」、妻であれば「かかあ天下」の振る舞いや言葉を照らされるべきです。「亭主関白」や「かかあ天下」の人は、決して勝利者になることはできません。また、ある夫婦は互いに相手が気分を害することを気にしすぎて、真実を語り合うことを避けて、問題の本質を見て見ぬふりをします。このような場合、問題はますます悪化していきます。

これは別の極端で、これらの人も夫婦生活を主の中で建て上げることはできません。結婚生活では、真に「御子が御顔(face)をあなたの上に輝かし、あなたに対して恵み深くありますように」を毎日経験する必要があります。そうすれば、夫婦の取り組みによって三一の神の祝福が他の人に豊かに流れ出すことができます。

祈り:「おお主イエスよ、私は神の定めによって配偶者と結婚しました。主に感謝します。結婚生活を日本の文化によってではなく、また自分自身が作った文化によってでもなく、主の中で建て上げることができますように。このために私は主の御顔を見上げ、照らされ、罪、欠点、弱さを告白して、赦していただく必要があります。私の罪を赦してください。主の恵みを享受して、私の配偶者に対する言葉が恵みで満たされたものとなることができますように。アーメン！」

**Crucial Point③:その霊の御顔の表情を見つめ、平安を得る**

**OL1:**「エホバが御顔の表情(countenance)をあなたに上げ、あなたに平安を与えられますように(民 6:26)」は、その霊と関係があると見ることができます。**OL2:**イエスは神の御顔(face)として来ました。聖霊は神の御顔の表情(countenance)として来ます。もし私たちが彼を悲しませるなら、彼は御顔を伏せますが、私たちが彼に服従するなら、彼は私たちに対して幸いであり、彼の御顔を上げて、私たちに確認し、保証し、担保し、約束し、すべてを私たちに与えます。**OL3:**全宇宙で唯一の祝福は三一の神です。この祝福が私たちに臨むのは、神聖な方が彼の神聖な三一の中で(父、子、聖霊の中で)、私たちの中へと分与することを通してです。

祝福の第三の面は、霊なる神の御顔の表情と彼の平安と関係があります。主の御顔が私たちの上に上げられることと、平安を与えることは、確かに三一の第三、その霊の恵み深い働きです。今日、その霊は絶えず神の御顔を私たちの上に上げ、平安を与えておられます。彼は私たちの環境の中で平安を与えるだけでなく、私たちの中に、すなわち私たちの心の中、霊の中に、思いの中にさえ平安を与えてくださいます。その霊の中で、その霊を通して、その霊と共に、私たちは平安を持ちます。人は心、思い、霊、環境の中で悩まされるかもしれませんが、私たちは煩わされるべきではありません。私たちはどこにいても、平安を持ちます。なぜなら、神の霊が私たちと共にあり、彼の御顔の表情が私たちの上に上げられているからです。

要約すれば、祝福は人を神の臨在の中へと、神の享受の中へともたすことであると言ってよいでしょう。民数記 6 章の三重の祝福は、旧約の祭司たちによる祝福の模範です。この模範が啓示しているのは、正当な祝福が人々を神の臨在の中へと、御顔の光の中へと、御顔の輝きの中へともたすことであり、それは彼らが彼の恵みにあずかり、平安を持つためであるということです。これが確かに正当な祝福です。何とすばらしいことでしょう！ 何と驚くべきことでしょう！

民数記 6:23 から 26 とⅡコリント 13:14 のいずれにおいても、祝福は外側の物質的なものではありません。ここの祝福は、良い職業、すばらしい家、高い教育、良い家庭生活ではありません。さらに、この祝福は、召会の中でどの種類の地位を持つこととも関係がありません。ときどき私たちが自分の状況を考えると、失望し、自分には何もないと感ずるかもしれません。私たちにあって、日の下にあるすべてのもの、霊的な領域におけるすべてのものさえ、空の空であるかのようです。私たちは、召会生活の中でさえ、何も真実ではないと感ずるかもしれません。私たちはこのように感ずるとき、どうすべきでしょうか？ 私たちは三一の神に転向すべきです。彼は私たちの真実な祝福と分け前です。彼を祝福

として持つとは何という祝福でしょう！ 彼の御顔、彼の臨在を持って、彼を日ごとに恵みとして享受するとは何という祝福でしょう！ 私たちは苦しみを受ければ受けるほど、ますます彼を恵みとして享受します。彼の御顔の表情が私たちの上で微笑んで、私たちに保証し、確認するとは何という祝福でしょう！ 彼の中で、彼によって、彼と共に平安を持つとは何という祝福でしょう！ これは私たちの祝福としての三一の神です。おお、キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にありますように！

**適用:青年在職、大学院生編**

Ⅱコリント 3:16 しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいを取り除かれます。17 そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。4:6 なぜなら、「暗やみから光が照りいでよ」と言われた神は、私たちの心の中を照らして、イエス・キリストの御顔にある神の栄光の知識を、輝かせてくださったからです。FN「イエス・キリストの御顔」:目の周りの部分を言っています。表情は、内側の思想や感覚の表示であって、その人全体を表明し、現します。これが示していることは、使徒が、キリストの目に表わされているキリストのパーソン全体の表示に従って、キリストの臨在の中で生き、行動した人であったということです。

青年在職者であるあなたは、御顔の表情としてのその霊を見つめてください。キリストは復活の後、命を与える霊となられました。Ⅱコリントのイエス・キリストの御顔とは、霊なるキリストの御顔の表情です。その霊は御顔の表情、特に目と目の周りの指標によってあなたに確認し、保証し、約束します。あなたは心の向きを主に向け、おおいのない顔を持ってその霊の御顔の表情を見つめてください。

あなたが、「給料が上がるように祈ること」や「馬の合わない上司を異動させて欲しいと祈ること」などは、心におおいかかった状態での祈りです。そうではなく、自分の霊を活用して、その霊の表情を見つめてください。そうすれば主の表情はあなたを主ご自身に導いてくださいます。そして真の祝福は物質の領域の事柄ではなく、三一の神ご自身が私たちの存在の中に分与されることであることに気づくでしょう。

**詩歌9番 父を礼拝する — 命の源として(英 12)**

1. みなもとなるかみよ、ほう富ないのち！  
生けるみずとしながれ、えい遠にいたる！
2. 子にあり、あいにより、世びとにながれ；  
あいもたらず、れいと、わがうちはいる。
3. われらはつみに満ち、とおくはなれど、  
なれ、子にてあがないなし、いのちをあとう。
4. われ、なれをあなたど、聖霊かなします；  
なれ、なおわが霊に入り、いのちとなりぬ。
5. 子にあり、れいとして、なれ、はいり来る；  
あぶら塗りはぞう加す、まじわりとおし。
6. かみの愛、主のめぐみ、れいのまじわり；  
かみのほう富、えい遠に われらにあとう。
7. ちち、子、れいはひとつ、かえりみゆたか、  
ちょう和してながあいを、えい遠に賛美す！

祈り:「おお主イエスよ、その霊の御顔の表情を見つめます。物質的な祝福を求め、三一の神ご自身の祝福を求めないことから、私を救ってください。あなたの表情を見つめるとき、あなたはご自身を私の中に注入してくださいます。あなたは御顔の表情をもって、私に確認、保証、担保、約束を与え、私を平安の中で導かれます。ハレルヤ！」